

森林環境譲与税ってなに??

○森林環境譲与税ってなに?

国土の保全、水源の維持、地球温暖化の防止、生物多様性の保全など様々な機能を持つ森林の整備を促進するため、国が自治体に対して譲与するという、令和元年度から開始された制度です。

○そのお金はどこから出てくるの?

森林環境税として、市区町村において、1人年額 1,000 円が課税されています。

なお、文京区では年度間の計画的な財源管理を行うため、「森林環境基金」を設置し、お金の見える化を図っています。

○文京区はいくら譲与されて、どんなことに使っているの?

令和6年度の譲与額は 28,408 千円となっています。文京区には私有林・人工林はありませんが、人口及び林業就業者数に基づいた金額が譲与されています。令和6年度は以下の事業に活用しました。

1 オフセット・クレジットの購入

本区と包括連携に関する覚書を締結している熊本県が販売するオフセット・クレジット（※1）を購入することで、区の二酸化炭素排出量を削減するとともに、森林整備に係る取組を支援しました。

【事業費】3,960 千円（うち譲与税 3,567 千円）

【実績】400 t 相当の二酸化炭素排出量削減

（※1）オフセット・クレジット

温室効果ガスの排出削減量や吸収量を数値化したもので、取引可能な「排出権」として認証されたものです。企業や個人が、どうしても削減できない自らの排出量を相殺するために購入し、カーボン・オフセット（※2）の取り組みに用いられます。

（※2）カーボン・オフセット

日常生活や経済活動において避けることができない CO₂ 等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせするという考え方です。



（事業概要 環境省 HP より）

2 いしおか自然体験バスツアー

交流自治体である茨城県石岡市において、区内の小学生を対象にした森林環境学習等を行いました。

【事業費】 729 千円（うち譲与税 229 千円）

【実績】 実施回数 1 回・参加人数 8 名

（間伐体験）

（マイ箸づくり体験）



3 国産木製什器の購入

区児童相談所の設置にあたり、相談室や一時保護施設において子どもたちが使用する国産木材の什器を購入しました。

【事業費】 15,579 千円（うち譲与税 13,000 千円）

【実績】 国産木材の机・椅子等 140 台購入

（相談室ソファ）

（居室チェア）

（絵本ラック）



4 元町ウェルネスパーク整備工事における国産木材の使用

令和 7 年 4 月 1 日に開設した元町ウェルネスパークの整備工事において、腰壁や建具等に国産木材を使用しました。

【事業費】 15,433 千円（うち譲与税 15,433 千円）

【実績】 国産木材の腰壁・ドア枠等設置

（歴史展示室内）

（東館 3 階の廊下）

